



新型コロナウイルス感染症に不安をかかえる妊婦の方へ

強い不安をかかえている、もしくは基礎疾患を有する妊婦で、検査を希望する方に、新型コロナウイルスの検査の助成を行います。

対 象（以下の全てにあてはまる方）	相談先
<ul style="list-style-type: none"> ・強い不安をかかえている、もしくは基礎疾患を有する妊婦で検査を希望する方 ・分娩予定日が概ね2週間以内の妊婦の方 ※医師の判断により、検査の時期が早くなる場合があります。 ・発熱などの感染を疑う症状がない方 ・大阪府内に住民票のある方 	妊婦健診を受けているかかりつけ産科医療機関

※「強い不安をかかえる妊婦」とは、例えばうつ状態にあるなどの強い不安をかかえる妊婦

※基礎疾患の例：慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧症、心血管疾患等(基礎疾患の有無は妊婦からの申し出で可)

※発熱などの症状のある方は、本検査の対象外となりますので、別途かかりつけ医にご相談いただくか、新型コロナの診療や検査が可能な診療・検査医療機関で検査を受けてください。(検査代は無料ですが、保険診療のため初診料など一部自己負担があります。)

■検査までのフローチャート



病気もあるし、新型コロナウイルスに感染していたらどうしよう…症状はないけど不安、PCR検査を受けてみたいなあ。



相談先・検査場所：かかりつけ産科医療機関等
検査方法：唾液か鼻の奥の粘液を採取します。

※検査前に主治医から重要事項説明があります。



<検査結果が陽性になると>

症状の有無にかかわらず、入院や宿泊療養または自宅療養となります。また、入院先が必ずしも分娩予定の医療機関とならない場合があります。詳細は、かかりつけ産科医療機関にご相談ください。



検査結果に関わらず、不安を抱える妊産婦の方は、希望に応じて、助産師や保健師などによる専門的なケアや電話での相談支援を受けることができます。(希望される方は裏面の案内をご覧ください)



※ホームページにて詳細及び参考動画を掲載しております。

ウイルス検査の実施にあたっては、下記内容をご覧になり、かかりつけ産科医療機関にご相談ください。

・検査の性質上、実際には感染しているのに結果が陰性になること（偽陰性）や、感染していないのに結果が陽性になること（偽陽性）があります。

<検査結果が陽性となった場合>

- ・症状の有無にかかわらず、入院や宿泊療養または自宅療養となります。
- ・症状の有無にかかわらず、入院先が必ずしも分娩予定の医療機関とならない場合があります。また、分娩方法等が変更される（帝王切開や計画分娩等）可能性があります。
- ・症状の有無にかかわらず、感染拡大防止の観点から入院中の面会および分娩時の立ち会いが制限される場合があります。また、分娩後の一定期間、母子分離（お母さんと赤ちゃんが別室での管理となり、赤ちゃんに触れたり、授乳することができない）となる可能性があります。
- ・本検査結果等につきましては、住民票のある自治体やかかりつけ産科医療機関のある自治体に提供させていただく場合があります。